

青森からお届けします！



2年連続(1m以上)の大雪の冬を乗り越えて何もほかにこのように暖かい春を迎えています。
4月下旬、可愛らしいりんごの蕾が膨らみ
幼い葉っぱが出てきています。いつの年も花を
咲かせ命を繋いでいくりんごの生命力に
改めて感動させられます。
このあと花が咲き、一つ一つりんごへと実を
結ぶ事ができるように、私達も準備を
進めています。

春の音 チェンソーの響き

冬の剪定作業を終え、りんごの花が咲くまでのわずかな時期。
この間に、園地を整える作業が急ピッチで進みます。

その一つがチェンソー作業です。
雪害にあった木、病気の木、老木、そして剪定
だけでは落とすきれない太い枝を、園地全体を
見て一本一本処理していきます。

一歩間違えれば事故につながる作業のため、
効率よりも安全を最優先。
特に大切なのは、枝を切ったときにその
先がどう動くのかをしっかりと予測することです。
集めてみると驚くほどの量になりますが、
それは一本一本の木と向き合い、整えてきた証でもあります。工藤



園地が動き出す、春の合図

ここ数年、温暖化の影響なのか、りんごの花の開花が少し
ずつ早まってきています。佐藤が入社した頃は、5月に入
ってから咲いていました。花が咲くと、いよいよ摘花作業
が始まります。その作業に間に合うように、
みんなで分担しながら園地整備を進めて
います。

佐藤は、剪定した枝の片付けなどを担当
しています。作業が続くと疲れが残る
こともあります。園地がきれいに整って
いく様子を見ると、「今年もスタートだ！」
と気持ちが高まります。 佐藤



かゆい所は無いですか？

りんご畑にも春がやって来ました。
春になるといろいろやることあるの
ですが、そのひとつが『粗皮(そひ)削り』。

『粗皮削り』とはりんごの樹の古くなっ
た樹皮を削り落とし、害虫の隠れ場所
を無くして薬剤散布の効果を高めたり、
病気や病変部分の早期発見する
など重要な作業になります。

やり方はちょっと変わっ
た専用の道具を使用し、
ポロポロと剥がれる
古い樹皮の部分だけを
軽く撫でるように削り
ます。その様子はさな
がら『垢すり』みたいな感じです。



なので自分ではりんごの樹に「かゆい所
はございませんか？」と心の中で
つぶやきながら作業しています。久米



青森りんご産地直送

大湯ファーム

〒036-8124 青森県弘前市石川字石川64

TEL : 0172-49-7890

FAX : 0172-55-0257

メール : info@ooyufarm.com

ホームページ : <http://ooyufarm.com>

皆様からいただいたりんごの花ギャラリー



神奈川県Hさま



京都府Wさま



東京都Uさま



東京都Sさま



大阪府Iさま